

神鞭知
常編輯

子道訓

末

特35

468

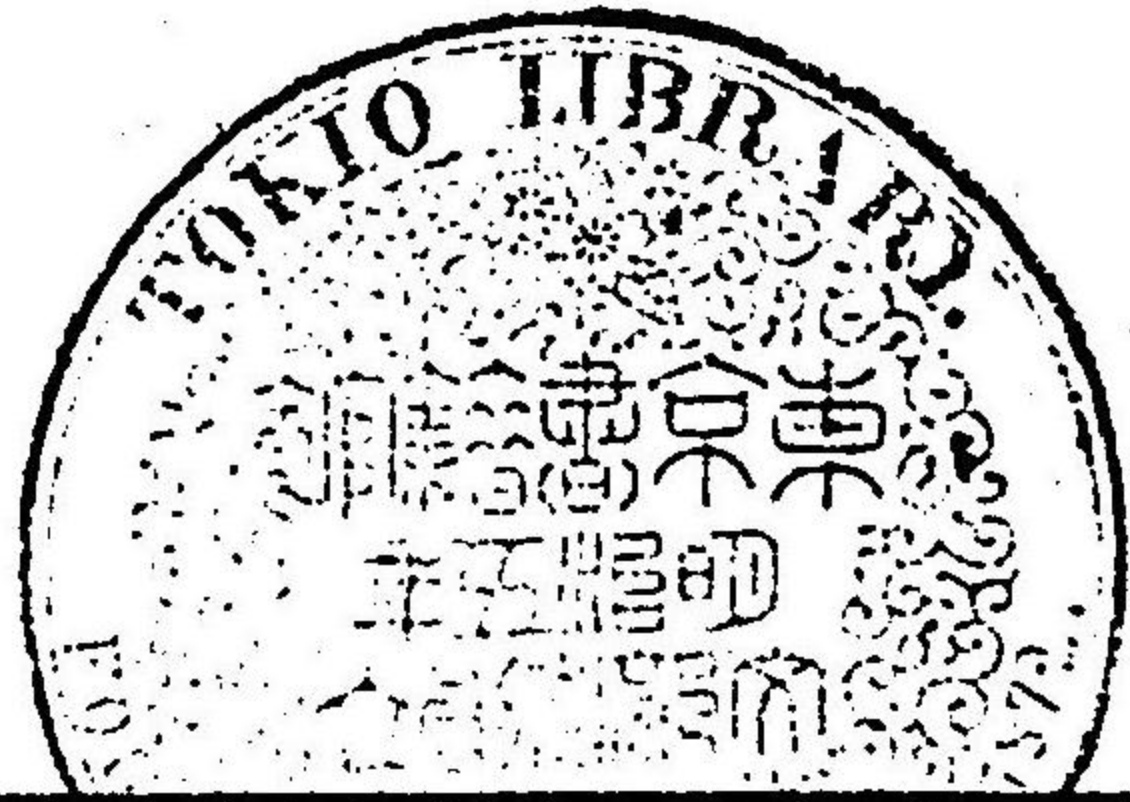
館務會書本日大

一	一	一
〇	四	九
八	架	函
號		
三		
册		

東

新

共
三
本



東書

子

道訓末

今律

第一章

明治八年文部省交付
神報知常編輯

律ニ曰凡子孫祖父母父母ノ教令ニ違

犯及ビ奉養缺クル有ル者ハ懲役

日祖父母父母ノ親ヲ告ルヲ待テ

坐ス。訴訟律子孫

條例ニ曰凡祖父母父母老疾シテ家ニ

子道訓 卷之末 萬葉集

侍養ノ親ナキニ故ラニ棄去ル者ハ懲
役二年。

第二章

律ニ曰凡子孫祖父母父母ヲ罵ル者ハ
懲役三年。祖父母父母ノ親ヲ告ルヲ待
テ乃チ坐ス。罵詈律罵祖
又曰卑幼四等親ノ尊長ヲ罵ル者ハ懲
役五十日。三等親ノ尊長ハ懲役六十日。

若シ兄姉ヲ罵ル者ハ懲役九十日。伯叔
父姑外祖父母ハ懲役一百日。並ニ尊長
ノ親ヲ告ルヲ待テ乃チ坐ス。同律罵有

第三章

律ニ曰凡子孫祖父母父母ヲ毆ツ者ハ
懲役十年。傷スル者ハ懲役終身。死ニ至
ル者ハ斬。故殺スル者ハ梟。並ニ收贖ヲ
聽サズ。鬪毆律毆祖

子道 卷之末 七 萬卷樓藏

又曰凡弟妹兄姊ヲ殴ツ者ハ懲役三年
傷スル者ハ懲役二年半折傷スル者ハ
懲役七年廢疾ニ至ル者ハ懲役十年篤
疾ニ至ル者ハ懲役終身死ニ至ル者ハ
皆絞故殺スル者ハ皆梟
若シ姪伯叔父姑ヲ殴テ及ビ外孫外祖
父母ヲ殴テ篤疾及ビ死ニ至ル者罪同
シ

子道訓 卷之六 二

若シ卑幼二等親ノ尊長及ビ外祖父母
ヲ過失殺スル者ハ懲役二年傷スル者
ハ懲役一百日並ニ收贖スルヲ聽サ
ズ同上。殴二等親尊長條
又曰凡卑幼三等親ノ尊長ヲ殴ツ者ハ
懲役一年四等親ノ尊長ハ懲役一百日
折傷以上ハ凡鬪傷ニ一等ヲ遞加ス篤
疾ハ懲役終身死ニ至ル者ハ絞故殺ス

子道訓 卷之六 三 萬善樓藏

ル者ハ斬親以下尊長三等
 又曰凡卑幼以下尊長親以下ノ尊長ヲ過失
 殺傷スル者ハ凡人過失殺傷ヲ以テ論
 シ收贖スルヲ聽ス同上
 又曰凡文武百工技藝ノ人受業師ヲ殴
 ツ者ハ凡闘傷ニ二等ヲ加ヘ罪懲役十
 年ニ止ル死ニ至ル者ハ懲役終身同上
 受業師條

又曰凡祖父父母父母人ニ殴タレ子孫即
 時ニ救護シ還ツテ行兇人ヲ殴ツハ折
 傷ニ非ザルハ論ズルヲ勿レ折傷以上
 ハ凡闘傷ニ三等ヲ減ズ死ニ至ル者ハ
 懲役十年
 條例ニ曰凡祖父父母父母人ニ殺サレ子
 孫擅ニ行兇人ヲ殺ス者ハ謀殺ヲ以テ
 論ズ其即時ニ殺死スル者ハ論ズルヲ

勿レ、又曰、凡子孫祖父母父母ト同謀シテ、共
 一人ヲ毆テ、若クハ祖父母父母人ト忿
 争シ、子孫ニ指令シテ毆打セシメ、及ビ
 人ト鬪毆スルニ、其子孫勢ヲ助ケテ共
 毆ツ者ハ、俱ニ常律ニ照シテ罪ヲ科
 シ、救護還鬪律ヲ用ヒス。祖被毆條、父
 同被毆條、

第四章

律ニ曰、凡祖父母父母人ニ殺サレ、子孫
 私和スル者ハ、懲役三年、二等親ノ尊長
 人ニ殺サレ、私和スル者ハ、懲役二年、三
 等親以下各一等ヲ遞減ス。人命律、私
 又曰、凡子孫己ニ死スル祖父母父母ノ
 屍ヲ將テ、人ニ圖賴スル者ハ、懲役三年、
 二等親ノ尊長ノ屍ヲ將テスル者ハ、懲
 役二年、三等親以下ノ尊長ハ、各一等ヲ

子道訓 卷之末 五 萬卷樓藏

手道 論 卷之六 六 萬卷 終 終
遞減ス其官ニ告ル者ハ誣告律ニ依テ
罪ヲ論ス同上律將
屍圖類條

第五章

律ニ曰凡祖父母父母及ビ伯叔父姑兄
姉若クハ外祖父母ヲ謀殺スルニ已ニ
行フ者ハ皆絞已ニ殺ス者ハ皆梟三等
親以下ノ尊長ヲ謀殺スルニ已ニ行フ
者首ハ懲役五年從ハ懲役三年已ニ傷

第六章

スル者首ハ絞從ハ加功スル者加功セ
ザル者並ニ凡人ト同ク罪ヲ論ス已ニ
殺ス者ハ皆斬人命律謀殺祖
父母父母ヲ殺ス者ハ
又曰凡瘋癲人祖父母父母ヲ殺ス者ハ
鎖錮終身同上律瘋
癲殺人條
律ニ曰凡同居ノ子弟私擅ニ父兄ノ財
物ヲ用ユル者ハ一十圓ニ懲役一十日

手道 卷之六 六 萬卷 終 終

一十圓毎ニ一等ヲ加ヘ罪懲役一百日ニ止ル

條例ニ曰凡同居ノ卑幼尊長ニ由ラズシテ私擅ニ家ノ財物ヲ用フル者ハ子弟私擅用財律ニ依ル戸婚律子弟私擅用財條

第七章

律ニ曰若シ養父母親生ノ子ナキニ養子捨去ル者ハ懲役二年戸婚律立嫡違法條

又曰凡父母ノ喪ヲ聞キ匿シテ居喪セサル者ハ懲役一年

其祖父父母死スト詐稱シ若クハ喪ニ居テ嫁娶スル者ハ懲役一百日同上律

第八章

律ニ曰凡各居五等ノ親財物ヲ相盜ス者ハ凡人ニ一等ヲ減ジ四等三等二等

子道訓 卷之終 七 萬卷樓藏

ノ親ハ各一等ヲ遞減シ、若シ強盜ヲ行
フ者、卑幼尊長ヲ犯スハ凡人ヲ以テ論
ズ、若シ殺傷スル一アル者ハ、過誤ニ出
ルト雖モ殺傷尊長ノ本律ニ依リ、重キ
ニ從テ論ス。
若シ同居ノ卑幼他人ヲ將キテ己ノ家
ノ財物ヲ盜ム者ハ、卑幼ハ私擅用財律
ニ依リテ論ジ、二等ヲ加フ。罪懲役一百

日ニ止ル、他人ハ凡盜罪ニ一等ヲ減ズ。
若シ殺傷スル一アル者ハ、各殺傷尊長
ノ本律ニ依リ、他人ハ縱ヒ情ヲ知ラズ
ト雖モ強盜ヲ以テ論ス、若シ他人殺傷
スル者ハ、卑幼縱ヒ情ヲ知ラズト雖モ
亦各殺傷尊長ノ本律ニ依リ、重キニ從
テ論ズ。盜賊律親
又曰、凡二等親以下、相恐喝シテ財物ヲ

子道訓 卷之末 萬曆續編

取ル者卑幼尊長ヲ犯スハ凡人ヲ以テ
論ズ同上律恐
又曰凡二等親以下自ラ相詐欺スル者
モ亦親屬相盜律ニ依リ罪ヲ科ス同上
欺取財條

第九章

律ニ曰凡父祖ノ妻伯叔姑姊妹ヲ姦ス
ル者ハ各懲役三年強姦スル者ハ懲役

終身若シ母ノ姊妹及ビ兄弟ノ妻ヲ姦
スル者ハ懲役二年妻ヲ姦スル者ハ各
一等ヲ減ズ強姦スル者ハ並ニ懲役終
身
若シ兄弟姊妹ノ女及前夫ノ女同母異
父姊妹ヲ姦スル者ハ各懲役一年強姦
スル者ハ懲役終身犯姦律親屬相姦條

第十章

律ニ曰凡子孫祖父母父母ヲ告ゲ妻妾

夫ノ祖父母父母ヲ告ル者ハ實ヲ得ル
ト雖モ懲役二年半、誣告スル者ハ懲役
終身若シ二等親ノ尊長及ビ外祖父母
ヲ告ル者ハ實ヲ得ルト雖モ懲役九十
日、三等親ノ尊長ハ懲役八十日、四等親
ノ尊長ハ懲役七十日、妻ノ父母ハ懲役
六十日、其告ラル、二等三等ノ尊長及

ビ外祖父母若クハ妻ノ父母ハ並ニ自
首ニ同ジク罪ヲ免ス、四等親ノ尊長ハ
本罪ニ三等ヲ減ス、若シ誣告ノ罪重キ
者ハ各誣ル所ノ罪ニ三等ヲ加ヘ、罪懲
役十年ニ止ル
其嫡繼母所生母其父ヲ殺シ及ビ養父
母、其所生父母ヲ殺シ、若クハ二等親以
下ノ尊長ニ財産ヲ侵奪セラレ、或ハ其

好道川 卷之六 萬葉集

身ヲ毆傷セラレテ、卑幼ノ自訴ス可キ者ハ、並ニ告ルヲ聽シ、告ラル、者ハ各本律ニ依テ之ヲ科ス。干名犯義ノ限ニ在ラズ、訴訟律、干律ニ曰、凡同居ノ親屬若クハ別居三等以上ノ親屬及ビ外祖父母外孫妻ノ父母女孀若クハ孫ノ婦夫ノ兄弟及ビ兄弟ノ妻並ニ罪ヲ犯シテ相容隠スル者

ハ皆論ズルヲ勿レ。若シ官司ノ追捕ヲ偵知シテ其事情ヲ漏泄シ、或ハ消息ヲ通報シ、罪人ヲシテ隠避セシムル者モ亦罪ニ坐セズ。其別居四等以下ノ親屬相容隠シ、及ビ事情ヲ漏泄スル者ハ各凡人ニ三等ヲ減ズ。名例律、親屬相為容隠條、又曰、凡本犯人ヲ遣シテ代首セシメ、若

クハ相容隠スルヲ得ル者爲メニ代
首シ及ビ告言スルハ各罪人自首法ノ
如ク罪ヲ免ス同上律犯
又曰凡犯人祖父母父母年七十以上及
ビ廢篤疾ニシテ家ニ侍養ノ子孫ナキ
者ハ所司事實ヲ推問シ懲役一年以上
ニ諛ル者ハ棒鎖三日ニ科シテ餘罪ヲ
收贖シ其百日以下ニ諛ル者ハ全罪ヲ

收贖スルヲ聽シ存留シテ親ヲ養ハ
シム其死罪ヲ犯シ若クハ再ビ懲役一
年以上ヲ犯ス者ハ並ニ本刑ヲ加ヘ收
贖スルヲ聽サズ同上律犯罪
條例ニ曰凡懲役一年以上ヲ犯シ已ニ
實斷シ役百日ヲ過ギテ祖父母父母老
疾シテ家ニ侍養ノ子孫ナク父祖親屬
ノ侍養スルヲ願フ一切ナル者ハ餘

子道訓 卷之末 十一 萬卷樓藏

罪ヲ收贖シ放還スルヲ聽ス。
又曰凡待養子孫ト稱スルハ年十六以
上成丁ノ者ヲ謂フ。若シ家ニ丁男ナシ
ト雖モ妻若クハ女年十六以上ノ者ア
レバ留養スルヲ聽サズ。
律ニ曰一家人共ニ罪ヲ犯セバ止ダ尊
長ヲ坐シ卑幼ハ論セズ。若シ尊長年八
十以上及ビ篤疾アレバ共犯スル其次

ノ尊長ヲ坐ス。婦人ノ尊長ハ首タリト
雖モ仍ホ卑幼ノ男夫ヲ坐ス。
其盜罪及ビ枉法不枉法若クハ鬪毆殺
傷等父子同ジク犯スハ並ニ凡人首從
ノ法ニ依ル。同上律共犯

子道訓 卷之九 十三 萬卷樓藏

五等親圖

一等親

父母

養父母

夫

子

養子

二等親

祖父母

嫡母

繼母

伯叔父姑

兄弟姊妹

夫ノ父母

妻妾

姪

孫

子ノ婦

子類 卷之六 十四 鶴巻樓藏

子道訓 卷之九 十五 萬葉集

三等親

曾祖父母 ソウソフフボ

伯叔ノ婦 ハクシラフ

夫ノ姪 フテツ

從父兄弟姊妹 ジウフケイテイシマイ

異父兄弟姊妹 キフケイテイシマイ

夫ノ祖父母 フソフボ

夫ノ伯叔父姑 フハクシラフコ

庶子 シヨシ

姪ノ婦 テツフ

繼父 ケイフ

四等親

高祖父母 カウソフボ

從祖祖父母 ジウソソフボ

從祖伯叔父姑 ジウソハクシラフコ

夫ノ兄弟姊妹 フケイテイシマイ

兄弟ノ妻 ケイテイサイ

再從兄弟姊妹 サイジウケイテイシマイ

外祖父母 グアイソフボ

舅姨 前夫ノ子 ケウイ ぜんふノコ

兄弟ノ孫 ケイテイソン

從父兄弟ノ子 ジウフケイテイシマイ

外甥 グアイゼイ

曾孫 ソウソン

孫ノ婦 ソンフ

子道訓

卷之九

十五

萬葉集

五 等 親

妻ノ父母サイフボ

姑ノ子オバコ

舅姨ノ子キウイハカタノイトコ

玄孫ゲンソン

外孫グワイソン

女婿ヂョゼイ

從父兄弟姊妹ハ兄弟ノ子相呼デ從父ト爲ス。長者ヲ兄ト曰ヒ、沙耆ヲ弟ト曰

ス。從祖父姑ハ祖父ノ兄弟姊妹ヲ謂ス。

從祖伯叔父姑ハ從祖祖父ノ子ヲ謂ス。

即チ父ノ從父兄弟姊妹。

再從兄弟姊妹ハ從祖伯叔父ノ子ヲ謂

ス。

舅姨ハ母ノ兄弟ヲ舅ト謂ヒ姊妹ヲ姨ト曰ス。

子道訓末尾

追加刑名

名例ニ曰凡笞杖徒流ノ刑名ヲ改メ一

體ニ懲役ニ換ヘ例ニ照シテ役ニ服

ス改定律例

懲役ハ十日ニ起リ十年ニ止ル蓋シ

勞役苦使シ以テ惡ヲ改メ善ニ遷ラ

シム

又曰凡懲役十年ノ上ニ懲役終身ノ刑

又曰凡絞ハ其首ヲ絞リ其命ヲ畢ルニ
捧鎖ニ換フ
又曰凡笞杖打決ヲ廢スト雖モ存留養
親及ビ懲役人逃即時決ス可キ等ハ
刑ニ科ス同上第
外罪死ニ諛ル者一體ニ寛宥シテ此
盜謀故殺放火及獄偽造寶貨ヲ除ク
ヲ設ケ其犯罪持兇器強盜監守常人
刑ニ科ス同上第

止メ猶ホ其體ヲ全クス遺骸ハ親族
請フ者アレバ下付ス
凡斬ハ其首ヲ斬ル遺骸ハ親族請フ
者アレバ下付ス
絞斬ニ死ノ外仍ホ梟示ナル者アリ
其首ヲ斬リ刑場ニ梟示シ看守人ヲ
置キ犯由牌ニ罪狀ヲ書シ其側及ビ
各所ニ立テ三日ヲ經テ除毀ス兇殘

子道川
卷之六
萬卷樓藏

ノ甚シキ者ヲ待ツ所以ナリ。名例律
又曰、凡、梟示ハ、犯由牌ニ罪状ヲ書シ、梟
場及ビ各所ニ揭示スル外、斬絞ニ死
モ亦、犯由牌ニ罪状ヲ書シ、通衢一個
所ニ揭示ス、仍ホ梟斬絞及ビ懲役五
年以上ニ處スル者ハ、並ニ罪状ヲ紙
牌ニ書シ、三日間、犯人本籍ノ揭榜場
ニ揭示ス、改定律例、第七條、例、

又曰、凡、梟斬絞ノ遺骸ハ、親屬請フ者ア
レハ、下付スト雖モ、墓石ニ止ダ、氏名
年月日ヲ記ス、一ヲ得テ、式ヲ以テ葬
ル、一ヲ聽サズ、同上、第十條、

追加終

子道川 卷之六 追加 十一 萬家妻

發行
書林

大坂安土町四丁目

書林

商社

同心齋橋南一丁目

松村

九兵衛

甲府八日町一丁目

内藤傳右衛門

駿州静岡江川町

廣世藏

陸前仙臺國分町

菅原安兵衛

濃州岐阜米屋町

三浦源助

下総千葉本町一丁目

岩浪長藏

東京大傳馬町三丁目

東生龜治郎

